

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
第9回 支えあいバックアップ部会（B部会）議事録

日時	平成30年12月25日(火) 13時15分～14時40分	場所	健康センター第1会議室
出席	柳原部会長、星野副委員長、久世委員、羽田委員、近藤委員 生活支援コーディネーター：森、原田、鈴木、鍵和田 事務局：上垣、濱田		
欠席	澁谷委員、村田委員		

1. 前回の振り返り

- ・前回議事録参照

2. 意見交換会、支え合い体験会について

(1)意見交換会

- ・下宿1～3丁目を対象に1/30に実施予定。

(2)支え合い体験会(清瀬シニアクラブ連合会友愛活動研修)

①概要

- ・シニアクラブ会員を中心に30名が参加。支え合い体験ゲームを特定の団体で実施するのは初の試み。
- ・自助・互助に関する取り組みの相談先としてCOの存在があることを認識してもらうことを目標の一つとして定め、包括エリアごとにグループを編成。
- ・シニアクラブ担当職員より、来年度以降もCOが中心となった友愛研修ができれば良いとの意見あり。

②意見交換

- ・「できること」として複数枚のカードを選び取ることができる一方で、「助けてほしいことは、今はあまり無い」という意見を持つ方が多かった印象。
- ・グループで話し合う中で、各クラブが互いの取り組み内容が見えていない状況が見受けられた。今回のような、役職以外の会員同士のクラブを超えたつながりづくり、情報共有の機会も重要である。
- シニアクラブで今年度より実施している、人材バンクの取り組みについても、研修をきっかけに「こんなことでも登録できるんだ」と具体的なイメージが分かり、登録へのハードルが下がると良い。

③人材バンクと活動マッチング

〈市内の人材バンク的な取り組みについて〉

- ・清高連では今年度より、自分の特技やスキルを登録する、人材バンクの取り組みを実施している。登録者は現在4名程度。
- ・高齢支援課が、都内の高齢者人材について登録者データを持っている。そのデータの中から清高連の研修の講師派遣を依頼したところ、セミプロの講師を低額で招致することができた。
- ・ボランティア・市民活動センターでも人材登録を行っているが、相談内容によっては有償ボランティアやシルバー人材センター等、就労に近い取り組みを紹介することもある。
- ・生涯学習センター等でも人材バンク的な取り組みを行っている。
- 人材バンクについて、様々な機関、団体の中で運営される、または立ち上げられる動きがある。また

それらがバラバラに動いており調整が難しい。

〈活動希望者と活動のマッチングについて〉

- 一定の年齢に達した方が一堂に会し、地域活動の第一歩が踏み出せるようなイベントの開催してみてもどうか(イメージとしては、「65歳版の成人式」、「地域の同窓会」など)。
 - イベントの中で、上記で挙げたような各団体等の人材バンク的な取り組みと、これから地域で活動したい参加者のマッチングができるような仕掛けがあれば良いのではないかと、この意見あり。
- 上記のような取り組みについて、次年度以降で実施を検討する。

3. 各エリアの取り組み状況について

(1)社協

- 第2層協議体…1/24 立ち上げ。地域資源マップの作成に取り組む。
- 常設型サロン…空きスペース活用に関する制度が整わなければ実現不可との結論、立ち上げは保留。
- 愛夢健康麻雀…サロンを行っている自宅スペースで、健康麻雀の取り組みを行いたいとの相談あり。NPO 法人健康遊技たんぼぽと連携し、3月に体験オープンを実施予定。

(2)清雅

- 旭が丘みんなのサロン(第2層協議体)…3回目終了。集客が課題となる。実行委員(2層協議体)の中で役割(代表など)を決め進めている。
- 中里3・4丁目でも2層協議体へ向けた取組みを行うため、柳原部会長と連携して人選中。

(3)信愛

- のしお本家食堂…日没が早まった関係で時間帯を変更、1月以降は当分の間、夜間から変更し、昼食提供を行う。
- きよとれ学校…1/8に体力測定会実施予定。
- 第2層協議体…松山の自治会長が協議体に興味あり。対話を続けていく。

4. A部会の取り組みの共有

〈高齢者110番について〉

- 地域包括支援センターの愛称として、「高齢者のこと110番」を清瀬市地域包括ケア提案する。
- 来年度の取組みとして、オレンジリングを持っている地域住民に対し、地域のつなぎ役となってもらえる取組みをしていく案が出る。地域の気づきの目を増やすため、他市の事例を参考に、実現に向けた協議を検討する。

5. 空き家・空きスペースの活用について

(1)情報交換

- 旧いとうよし様宅については、市の所有物となり、柳瀬川回廊計画に組み込まれている、【回廊を訪れる方々の憩いの場】としての活用を目指し、現在修繕がすすめられている。自然を守る会が中心にボランティアとして保全していくことが想定される。
- 救世軍所有物件については、森COより当該法人に空きスペース募集の旨を案内したが手ごたえを得られず。市の担当より連絡して確認したところ、自省館が窓口とのことで、森COから再度連絡を予定。複十字病院については、市の担当部長の伝手で連絡を予定。
- 市内老人いこいの家については、シニアクラブが地域の方と老人いこいの家を共有しやすくなるよう、クラブの物品を保管している棚に、市より鍵をつけることを検討予定。

➤以上について、今後も随時経過を情報共有する。

(2) 空きスペース活用の仕組みについて

- ・市として、空き家の地域活用による固定資産税控除は、税金の在り方を揺るがしかねないという観点からほぼ不可能であるとの見解。
- 部会での空きスペースの取り組みのPR、また支え合いの活動を理解し積極的にスペースを提供してくださる方の発掘を継続的に行っていく必要がある。

6. 生活支援サービス提供団体のネットワークづくりについて

- ・資料「清瀬市生活支援サービス提供団体連絡会」参照。

7. 避難行動要支援者登録制度を通じた見守りづくりについて

(1) 前回の内容確認

- ・市では避難行動要支援者登録制度について、災害時の「要支援者」と「避難支援者」のマッチングを進め、個別避難支援計画を作成するという、住民同士の災害時の支え合いづくりを検討している。
- ・上記の「避難支援者」について、要支援者側から指定がなければ市の方で避難支援者を指名することを視野に入れている。このマッチング相手として、①シニアクラブやふれあい協力員に協力いただけないか、また、②マッチング時に、近隣の会員／協力員に「避難支援者」となる打診をすることの調整を各組織で行えるか、各組織に持ち帰り検討・確認する。
- ・詳細は前回議事録参照
- 「避難支援者」についてシニアクラブの友愛訪問をする方や、ふれあい協力員に協力頂けないか、各組織に持ち帰り検討・確認する。

8. 今後の予定（打ち合わせ日程 他）

- ・次回 1月22日（火）13：15～14：30 中清戸地域市民センター第2会議室
- ・次々回 2月18日（月）14：30～15：30（本会后）健康センター第1・2会議室

9. 宿題リスト

	宿題	やる人	期限
①	以下の事項を市担当部署内で確認。 (1)シニアクラブ会員を「避難支援者」に位置付けられるか (2)シニアクラブを避難行動要支援者登録制度の情報提供先に追加できるか	市福祉総務係（上垣）	1/22 進捗報告
②	以下の事項をシニアクラブ関係者間で確認。 (1)友愛訪問を行っているシニアクラブ会員が、避難行動要支援者登録制度の「避難支援者」として協力できるか (2)協力可能なシニアクラブが明確になった場合、各クラブの担当に連絡を行えば、避難支援者の調整が可能か	久世委員	1/22 進捗報告
③	ふれあい協力員を「避難支援者」に位置付けられるか、市担当部署で確認。	市地域包括支援センター係（濱田）	1/22 進捗報告
④	生活支援サービス連絡会の企画	生活支援 CO	年度内（次回進捗報告）